

# 2026年 シラバス

履修規定	必修課目	授業課目	理容技術理論
履修学年	1年	コース	理容科
担当教員	鞍成和恵	経歴	理容技術理論教員資格
担当教員		経歴	
授業時間数	96	授業方法及び場所	教室 実習室

## 1. 教科・科目の目標（到達目標）

- ・人の容姿を整えることに関わる技術を習得するため、技術の理論をしっかりと理解させ、職業訓練的実習の基礎を身につけさせる。
- ・修得する技術の目標を明確に定め、技術向上、更に国家資格習得を目指す。

## 2. 学習内容

- ・各技術を身につけるため、理容技術理論で裏付けし、理解させる。
- ・各章において総合学習を行い復習しながら理解させる。（オリジナルプリント活用）
- ・教科書の重要部分の理解度を深める。

## 3. 学習方法

- ・講義形式を基本とし、国家試験に向けた演習授業も適宜取り入れる。
- ・座学だけでなく、実習室において実習形式も含め授業を進める。
- ・DVD鑑賞にて補足説明を行う。

## 4. 学習評価

- ・学習態度、出欠状況を評価する。
- ・提出物、小テストで評価する。
- ・学期末テスト（70点以上であること）

教科書	理容技術理論1・理容技術理論2 （日本理容美容教育センター発行） 理容実習1・理容実習2 （日本理容美容教育センター発行） 技術の解説（日本理容美容教育センター発行）	参考文献 副教材等	オリジナルプリント DVD（日本理容美容教育センター発行） 理容用具
-----	---	--------------	--

## 学習計画

月	学習項目	学習内容・方法
4月 5月	理容技術と理論 人体各部の名称 基本姿勢 理容用具 用具と衛生	理容の意義、技術習得の重要性を理解させる。 人体及び頭部、顔部を形態的に理解させる。 技術姿勢の原則、トレーニングの原理 (オリジナルプリント活用) 用具の種類と特徴、各部の名称について理解させる。 理容と公衆衛生との関係について理解させる。
6月	ヘアカッティング  ヘアデザイン	カッティングの基本原則と姿勢(実習にて重複) 用具の持ち方と操作法の説明(実習にて重複) デザインヘアのスタイル別カットシステムの説明 (オリジナルプリント活用) ヘアスタイルの要素とデザインの関係性を理解させる。 スタイルの定番と流行を時代別に説明する。
7月	シャンプーイング & リンシング 理容マッサージ	技術習得のため目的をしっかりと理解させる。 3つの方法の特徴、姿勢、長所、短所などを理解させる。 技術の順序を覚えさせる(実習にて重複) マッサージの意義と効果を理解させる。 学期末テスト
9月 10月	シェービング	肌の知識、顔の特徴を明確にとらえることを理解させる。 正確な技術の必要性を理解させる。(DVD活用)
11月 12月	メンズシェービング レディースシェービング	フェイス・ネックシェービングの手順を覚えさせる。 肌への負担軽減法を理解させる。 学期末テスト
1月 2月	ヘアセッティング	ヘアスタイルにあったヘアセッティング方法を理解させる。 薬液や熱を使うセッティング方法を習得させる。 スタイル別のセッティングの違いを理解させる。 レディースヘアのデザインを表現する感覚と技術について理解させる。
3月	総論	学習したことのまとめ、確認  学期末テスト